

大阪市職員のためのゲートキーパー研修

背景・目的

今年度、9月10日からの「自殺予防週間」の開始に合わせ、**市民や自分以外の職員の心の変化に気づくことや、職員自身の心のセルフケアにつなげることを目的**に、自殺予防に関する基本的な知識やゲートキーパーの役割について、任意によるeラーニングを実施。

また、本市の自殺対策は「大阪市自殺対策基本指針（第2次）」のもと、具体的な取り組みを推進しているところであり、施策を進めていくにあたっては、**大阪市職員一人ひとりに対し、各所属で取り組んでいる施策が「生きることの包括的な支援」として自殺対策に繋がっており、所属間が連携して取り組む必要性の認識について、職員の意識を醸成することも合わせて目的としている。**

研修内容等

(1) 内容

1. 大阪市の自殺死亡統計の現状

大阪市における自殺死亡率の推移や年齢階級別の死因別死亡数について紹介

2. 動画視聴（15分）

「自治体職員向けゲートキーパー研修（傾聴編）」

※作成：厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのちを支える自殺対策推進センター（JSCP）

3. 相談窓口の紹介

自殺対策情報検索サイト、自殺防止の主な相談窓口等の相談窓口について紹介

4. 確認テストなど

3. 相談窓口の紹介

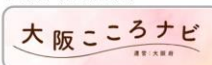
【自殺対策情報検索サイト】

厚生労働省



<https://www.mhlw.go.jp/mamoru-yokokoro/>

大阪府（若年層向け）



<http://kokoro-osaka.jp/osakabounshie4/heartsupport01.html>

ゲートキーパー手帳もダウンロードできます。

大阪市ホームページ（自殺防止について）



<https://www.city.osaka.lg.jp/henko/page/000/0954029.html>

【自殺防止の主な相談窓口】

相談窓口	連絡先	受付日時
保健師等によるこころとからだの健康相談	各区保健福祉センター地域保健活動業務担当 (区の4桁の番号 + 9968)	月曜日～金曜日 祝日・年末年始を除く 9時～17時30分
こころの健康相談統一ダイヤル	0570-064-556	月曜日～金曜日 祝日・年末年始を除く 10時～17時
こころの悩み電話相談	06-6923-0936	月曜日～金曜日 祝日・年末年始を除く 9時30分～17時
関西いのちの電話	06-6772-1121	24時間365日
自殺予防いのちの電話	0120-783-556	毎日16時～21時、毎月10日の8時～翌日の8時
大阪自殺防止センター	06-6260-4343	金曜日13時～日曜日22時

(2) 対象者・実施期間等

対象者

大阪市全職員（ただし、水道局を除く）

実施期間

令和6年9月10日（火）

～10月10日（水）

※9月10日から9月16日の「自殺予防週間」の開始日に合わせて実施

受講人数

16,189人

※全体:24,547人のうち、**約66%**

最後に、動画にもありましたように、**自殺の背景**には、単にうつ病などの精神疾患だけではなく、経済問題、家庭問題、いじめ、孤立、育児や介護疲れなど複雑に絡み合った要因が存在しています。

当研修をきっかけに、職員一人一人において、各所属で取り組んでいただいている施策が「生きることの包括的な支援」として自殺対策に繋がっていること、また関係局の連携した取り組みが重要であることを改めて認識していただきますようお願いいたします。

【自殺の原因・背景について】

自殺の多くは多様な複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。

（「経済・生活問題」や「家庭問題」等、他の問題が先行する中で、これと連鎖して、うつ病等の「健康問題」が生ずる等）



自殺の多くは多様な複合的な原因及び背景を有している

『令和4年中における自殺の状況』（厚生労働省自殺対策推進室 警察庁生活安全局生活安全企画課）より引用

(参考) 最近の議会 質疑状況

○令和5年11月 決算特別委員会（維新・黒田委員）

・本市の自殺の現状及び教育委員会事務局、こども青少年局における小中学校での自殺対策の取組について

○令和6年2月 市会本会議 代表質問（維新・野上委員）

・「生きることの包括的な支援」としての本市の自殺対策について

○令和6年3月 民生保健委員会（維新・近藤委員）

・各局の施策が「生きることの包括的な支援」として自殺対策に繋がっていることを改めて職員が認識するための取組について